

⑫ 公開特許公報(A) 平4-78769

⑬ Int. Cl.⁵B 62 D 1/04
G 05 G 1/10

識別記号

A

庁内整理番号

9142-3D
8009-3J

⑭ 公開 平成4年(1992)3月12日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全3頁)

⑮ 発明の名称 S, C型ハンドル, サポート.

⑯ 特 願 平2-189403

⑰ 出 願 平2(1990)7月19日

⑱ 発 明 者 千 代 茂 神奈川県川崎市中原区荻宿157番地1号 木月住吉団地12号棟33号

⑲ 出 願 人 千 代 茂 神奈川県川崎市中原区荻宿157番地1号 木月住吉団地12号棟33号

明 細 書

1. 発明の名称.

S, C型ハンドル, サポート.

2. 特許請求の範囲.

1. サポート1はハンドル2の固定溝3に沿って移動し、レバー5と金具6の作用により自由な場所に固定が出来る。ハンドル2の外周の部分にサポート1を固定させる事によって手を安定させ、ドライバーの手の疲れを軽減するサポート1の発明である。

2. サポート1をハンドル2にバンド11又はU字型の金具12を使って固定をする、この場合サポート1をハンドル2の外部から締め付ける為にハンドルの固定溝3は必要としない。

3. 発明の詳細な説明.

従来型のハンドルに金具6用の溝3を切り、サポート1の

金具6を入れサポート1をハンドルの外周に沿ってスライ
ドさせ、自分の一番好きな手の位置にレバー5をサポート
の溝7にセットをする。位置を変えたい時はレバー5を横
に引き固定を解除し、他の場所に移動し固定できる。さら
に必要が無いと思われる時はレバー5を引きハンドル2の
上部に金具出入り口4が有り、自由に取りはずす事が可能
で有る。

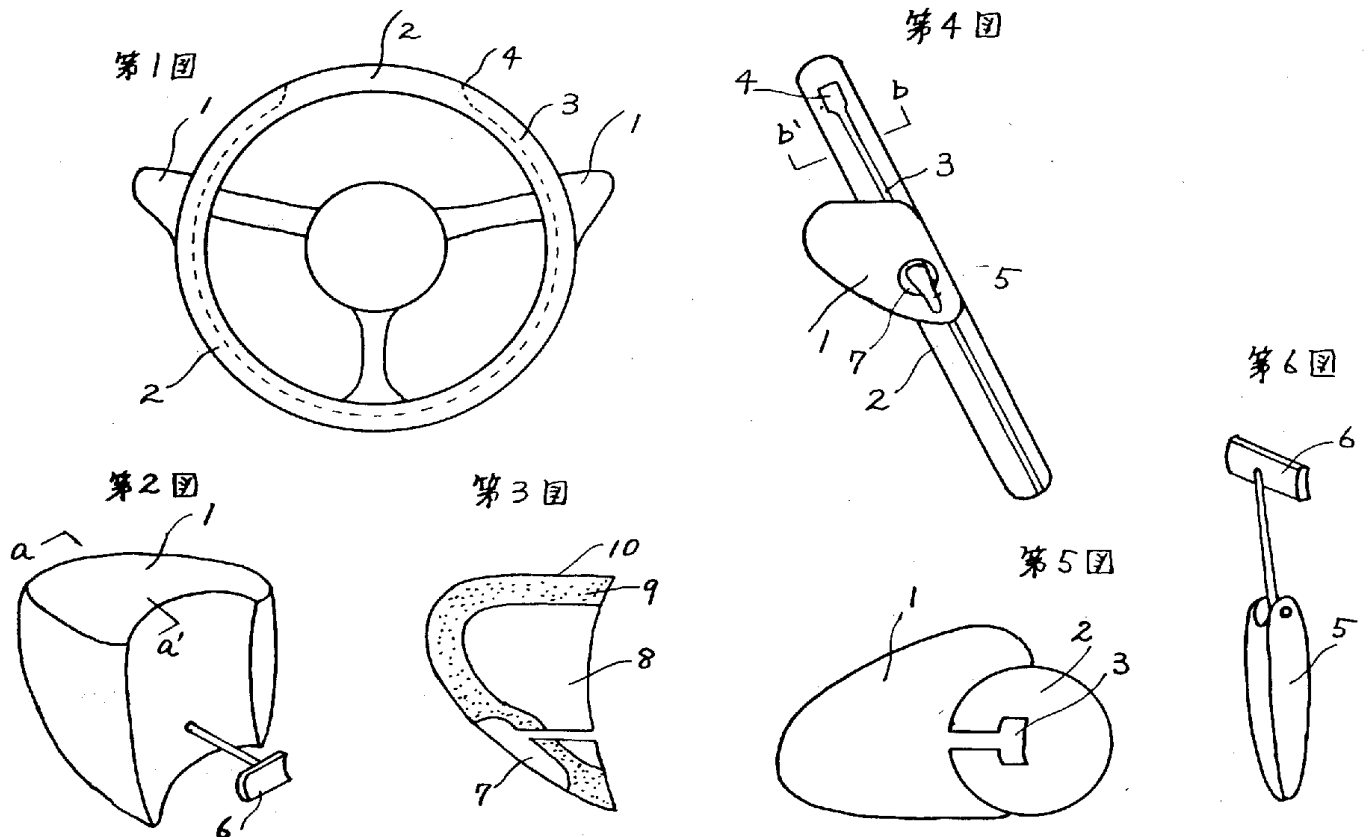
請求の範囲2はサポート1の固定方法が違いハンドル2へ
外部よりバンド11やU字型の金具12などを使いレバー
やナット等で締め付ける方法で有る。

サポート1の内部構造は第3図の様に成型部分8は軽量の
プラスチック、その上にクッション材9で覆い手の当たる
部分の疲れをやわらげる、表面材10は布又は革で出来て

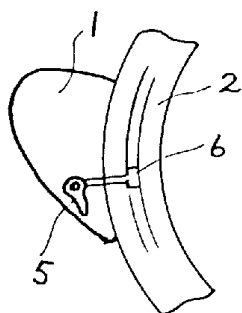
いて手の滑りを出来る限り少なくする。ハンドル2の前面よりサポート1は前に出ず事故による衝突事にも、ハンドル2より先に体が接触する事はない、なおかつ殆どの部分が曲面で形成されハンドル2に固定した時は全面的に柔らかなクッション9で覆われている為、人体に対しての安全性も高いと思われる。車を運転中に手が上方(10時10分)や下方(4時20分)になったりで手が疲れによって定まらなかった、これによりハンドル2の外側に乗せて固定すれば手の疲れが少なくて済み運転に集中が出来る。本発明はハンドル2に溝3を設けハンドル2の外周の外側にサポート1を固定させ、又は締め付け金具などにより固定する事によってドライバーの手の疲れを少なくする発明である。

4. 図面の簡単な説明.

第1図はサポート1とハンドル2の全体図、第2図はサポート1の立体図、第3図はサポート1のa-a'断面図、第4図はサポート1とハンドル2の側面図、第5図はb-b'断面図、第6図はレバー5と金具6の立体図、第7図はサポート1とハンドル2とレバー5と金具6の取り付けた図面。第8図はバンド11とU字型金具12の図面、13はボス分部、14はスポーク。



第7図



第8図

